

第6回

(きつおん)

とやま吃音のつどい

& 個別吃音相談会

日時

2021年 8月8日(日)

10:00～16:30 (9:30 開場)

つどい・相談会ともに

参加無料

会場

富山県総合福社会館 サンシップとやま (富山市安住町 5-21)

研修室 602・603・604

プログラム

午前の部: 講演「吃音のある子どもと家族の支援
～暮らしから社会へつなげるために～」

講師: 餅田亜希子(東御市民病院)

吃音当事者による体験談発表、など

午後の部: 個別吃音相談会

富山県言語聴覚士会より相談員を派遣して頂きます。

相談をご希望される方は事前予約が必要です。申し込み方法は裏面をご覧ください。



対象

- ・吃音のある人、吃音のあるお子さんのご家族
- ・吃音のある人の支援者(教員、言語聴覚士など)
- ・吃音に関心のある人はどなたでも

ひとりで悩まず、
まずは相談を！

○公益財団法人 大和証券福祉財団の助成により事業を実施しています○

主催 富山言友会 / 後援 富山県、富山市、富山県教育委員会、富山市教育委員会
北日本新聞社、富山県言語聴覚士会、NPO 法人 全国言友会連絡協議会、日本吃音・流暢性障害学会

吃音（きつおん）とは

吃音とは「言葉がつまりやすい・なめらかに話せない症状」のことで、かつては「どもり」とも呼ばれていました。主な症状は①繰り返（例：おおおはよう）②引き伸ばし（例：おーはよう）③ブロック（例：・・・おはよう）の3つがあります。話すときに手や足を動かしたり顔が震えたりする**随伴運動**がともなう場合もあります。

吃音をもつ人は100人に1人の割合でいると言われていますが、症状の度合いは人によって異なります。

吃音によって引き起こされる問題は、「スムーズに話せないこと」そのものだけではありません。吃ることを恐れるあまり人前で話すことに消極的になったり、「吃る自分」をネガティブに感じて苦悩を深めたりすることが問題の本質です。また、表面的な症状の重さと心理的な悩みの深さは必ずしも一致しません。周囲の人からは問題がわかりにくいのも吃音の特徴のひとつです。

言友会は、吃音のある人のセルフヘルプグループ（自助団体・当事者団体）として1966年に東京で発足しました。個々の吃音体験を分かち合う「例会」を中心として、会報の発行や、吃音に対する理解を深めるためのイベント開催などの取り組みを行っています。

主に都道府県単位で活動しており、全国に約40の団体があります。富山言友会は北陸でもっとも遅く、2017年9月に発足したばかりの新しい会です。会員それぞれが「吃音があっても豊かに生きる」ための方法を見つけるべく、活動を続けています。

言友会（げんゆうかい）とは

プログラム

○午前の部「吃音のつどい」 ※申し込み不要

- 9:30 開場・受付開始
- 10:00 開会のあいさつ
- 10:10 講演「吃音のある子どもと家族の支援」
- 11:40 吃音当事者による体験談発表
- 12:00 質問コーナー
- 12:10 まとめ・閉会のあいさつ

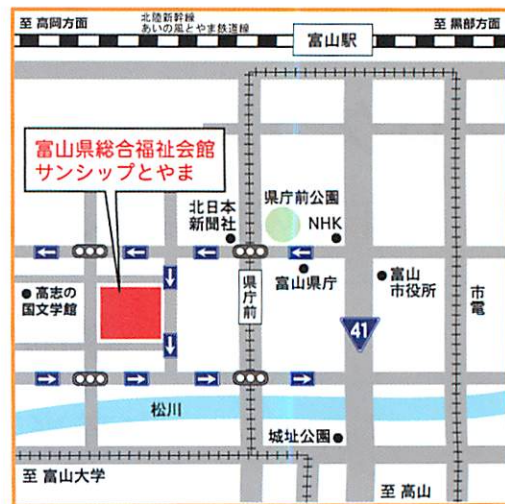
※内容や時間配分は変更となる場合があります。

○午後の部「個別吃音相談会」 ※申し込み必要

- 13:00 開場・受付開始
- 13:30 相談開始（原則1組1時間、同時に4組まで）
 - ①13:30～ ②14:30～ ③15:30～
- 16:30 相談終了・閉会

※必ず専用フォームからの事前申し込みをお願いします。

富山県総合福祉会館 サンシップとやま
（富山市安住町5-21）



- ・富山駅から徒歩15分
- ・市電「県庁前」から徒歩2分
- ・有料駐車場あり

※台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください

会場アクセス

申し込み方法・お問い合わせ

- ・「個別吃音相談会」は事前申し込みが必要です。お申し込みは専用フォームから8月1日（日）までをお願いします。（<https://bit.ly/3fRNb9j>）
- ・富山言友会へのお問い合わせは toyama.gyk@gmail.com までお願いします。



○シーグリーンは国際吃音啓発色です。